

## 令和4年度 三田市協働事業提案制度 「ええやん！やってみよっ！」

団体名： 住みよいカルチャータウンをつくる会

提案事業名： コミュニティ・ガーデンプロジェクト【第2章】～世代の枠を越えた、住民の参加と共働をかたちにする居場所づくり～

私たちは2005年の発足以来、地域社会のニーズであったコミュニティづくりに資する多くの事業を展開してきました。これは地域における優先度の高い課題でもありました。

活動の柱だった「コミュニティ・ガーデンふるる」においても、発足当時よりコミュニティ・ガーデンプロジェクトを推進、地域住民有志の手づくりによってガーデンを造営し、世代・性別を越えた交流を目指す憩いの場を構築してきました。

発足から18年。まちは例にもれず高齢化が進みました。会員も年を取り、活動の推進力が低下していることも否めません。しかし、逆に最近新規に分譲された街区では、若い家族が増え、子どもの数も増えつつあります。

これを機に今一度地域コミュニティを振り返り、より一層強固なものにするために必要なものは何か。今の子どもたちに資する活動を進めるには何ができるのか。かつてのように多くの住民に共感いただき、そこから課題解決に導いていく活動を展開するにはどうしたらいいか。

その手段として、本年度はコミュニティ・ガーデンの活動をもっと深掘りすることとなりました。若い世代の家族や子どものことは、同じ若い世代の人たちと「共働」して解決しよう。そこから、プロジェクトOhanaさんや関西学院大学の学生たちとの協働が生まれました。

コロナ禍も収束しつつあることを受け、既存のイベントをさらに魅力的なものにバージョンアップします。Ohanaさんとの連携によって「パパママ層」やその子どもたちも参加できる新しいイベントを企画します。学生には多世代交流の場で、高齢者と子どもをつなぐ役割を担ってまいります。ここに各参加者の出番を創出することで、個々の事業が一層楽しいものになっていきます。その結果、私たちがこれまで培ってきたノウハウと、新たに協働する皆さんが持つノウハウとが融合し、今後のさらなる魅力ある事業の展開につながると考えます。